

森林法（昭和 26 年法律第 249 号）第 33 条の 3 において準用する同法第 30 条の規定による通知を受け取るべき森林所有者又はその森林に関し登記した権利を有する者（以下「森林所有者等」という。）の住所が不明なので、同法第 189 条の規定により、次のとおり公告する。

なお、森林所有者等及び関係人は、いつでも下記の保管場所で通知を受け取ることができる。

平成 19 年 12 月 25 日

鳥取県知事 平 井 伸 治

- 1 通知の題名 保安林の指定施業要件の変更予定について
- 2 通知の要旨 次の表の左欄に掲げる森林所有者等の所有又は権利に係る同表の右欄に掲げる土地について、森林法第 33 条の 3 において準用する同法第 30 条の規定により行った保安林の指定施業要件の変更予定の告示（平成 19 年 12 月 4 日付鳥取県告示第 1003 号）の内容
（告示の内容）

1（1） 指定施業要件の変更予定に係る保安林の所在場所

次の表の左欄に掲げる森林所有者等の別に応じて、それぞれ同表の右欄に掲げる場所

| | |
|-------|------------------|
| 鹿嶋 廣子 | 倉吉市耳字難谷 703 |
| 〃 | 倉吉市耳字難谷 704 |
| 山岡 定男 | 倉吉市耳字難谷 709 の 1 |
| 竺原 幸富 | 〃 |
| 竺原 睦憲 | 〃 |
| 竺原きみゑ | 〃 |
| 生沢 茂 | 〃 |
| 大地木睦義 | 〃 |
| 大地木金蔵 | 倉吉市耳字難谷 709 の 2 |
| 入沢常次郎 | 倉吉市耳字難谷 709 の 3 |
| 鹿嶋 廣子 | 倉吉市耳字難谷 709 の 6 |
| 竺原 力吉 | 倉吉市耳字難谷 709 の 17 |
| 入沢常次郎 | 倉吉市耳字難谷 709 の 24 |
| 大地木金蔵 | 倉吉市耳字難谷 709 の 25 |
| 鹿嶋 廣子 | 倉吉市耳字難谷 709 の 37 |
| 山岡 定男 | 倉吉市耳字難谷 709 の 49 |
| 竺原 健蔵 | 〃 |
| 竺原 幸富 | 〃 |
| 竺原 恒市 | 〃 |
| 竺原 登代 | 〃 |
| 竺原きみゑ | 〃 |
| 大地木睦義 | 〃 |

| | |
|-------|-------------|
| 入沢 俊彰 | 〃 |
| 大地木金蔵 | 倉吉市耳字難谷 716 |

(2) 保安林として指定された目的

水源のかん養

(3) 変更後の指定施業要件

ア 立木の伐採の方法

(ア) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(イ) 主伐として伐採をすることができる立木は、倉吉市森林整備計画で定める標準伐期
齢以上のものとする。

(ウ) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

イ 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種
次のとおりとする。

2(1) 指定施業要件の変更予定に係る保安林の所在場所

次の表の左欄に掲げる森林所有者等の別に応じて、それぞれ同表の右欄に掲げる場所

| | |
|-------|---------------------|
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字一ノ谷 164 の 19 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 若本 郁夫 | 倉吉市鴨河内字二ノ谷 165 の 7 |
| 生田喜志男 | 倉吉市鴨河内字二ノ谷 165 の 12 |
| 若本 郁夫 | 倉吉市鴨河内字二ノ谷 165 の 19 |
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字二ノ谷 165 の 36 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |

| | |
|-------|---------------------|
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字三ノ谷 166 の 15 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 山根 陽子 | 倉吉市鴨河内字汁谷 173 の 10 |
| 生田喜志男 | 倉吉市鴨河内字汁谷 173 の 11 |
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字汁谷 173 の 23 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 岩本 熊治 | 倉吉市鴨河内字ネギ谷 201 の 19 |
| 佐治 幸雄 | 〃 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |

| | |
|-------|----------------------|
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字大原 203 の 1 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 竹好清太郎 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 米田 貞一 | 〃 |
| 米田繁三郎 | 倉吉市鴨河内字小原 259 の 4 |
| 向井 育蔵 | 倉吉市鴨河内字小原 259 の 17 |
| 山根 作市 | 倉吉市鴨河内字小原 259 の 18 |
| 猪川 岩吉 | 倉吉市鴨河内字上ヒツケ 261 |
| 生田喜志男 | 倉吉市鴨河内字上ヒツケ 262 の 5 |
| 万治 豊輝 | 倉吉市鴨河内字下ヒツケ 263 の 2 |
| 佐治 幸雄 | 倉吉市鴨河内字下ヒツケ 263 の 16 |
| 佐治 竹年 | 〃 |
| 山根 市野 | 〃 |
| 生田 浄 | 〃 |
| 生田 明 | 〃 |
| 生田喜志男 | 〃 |
| 猪川 勅嗣 | 〃 |
| 馬西 治徳 | 〃 |
| 福摩 登理 | 〃 |

| | |
|-------|-------------------|
| 米田 行成 | 〃 |
| 米田 鶴俊 | 〃 |
| 米田岩五郎 | 倉吉市耳字湯瀬平 133 |
| 鹿嶋 廣子 | 倉吉市耳字トギイハ 522 の 1 |
| 〃 | 倉吉市耳字トギイハ 522 の 2 |
| 〃 | 倉吉市耳字トギイハ 522 の 3 |

(2) 保安林として指定された目的

土砂の流出の防備

(3) 変更後の指定施業要件

ア 立木の伐採の方法

(ア) 主伐に係る伐採種は、定めない。

(イ) 主伐として伐採をすることができる立木は、倉吉市森林整備計画で定める標準伐期
 齢以上のものとする。

(ウ) 間伐に係る森林は、次のとおりとする。

イ 立木の伐採の限度並びに植栽の方法、期間及び樹種

次のとおりとする。

(「次のとおり」は、省略し、その関係書類を鳥取県農林水産部森林保全課及び倉吉市役所に備
 え置いて縦覧に供する。)

3 通知の掲示場所 倉吉市役所

4 通知の保管場所 鳥取県農林水産部森林保全課